



外務省在外公館派遣員

神田外語学院から過去10年で24名の在學生・卒業生を派遣

神田外語グループ(東京都千代田区／理事長 佐野元泰)が運営する神田外語学院(東京都千代田区／学院長 糟谷幸徳)は、第95回外務省在外公館派遣員試験の結果をもって、過去10年で計24名の在學生・卒業生を外務省在外公館派遣員として派遣することになります。本グループでは、これまで208名の在學生・卒業生が外務省在外公館派遣員に合格し、これまでの派遣国は80か国に上ります。任期を終えた在學生・卒業生は、外務省職員、地方公務員、大手企業などへの就職や、国内外の大学院に進学するなど、より視野と選択肢を広げながら世界で活躍しています。

神田外語学院 外務省在外公館派遣員 派遣実績

派遣年	派遣先(19か国)	派遣数(24名)
2011	在カンボジア日本国大使館	1名
2012		0名
2013	在ジッタ総領事館、在香港総領事館	2名
2014	在クロアチア日本国大使館、在トロント日本国総領事館、 在デンバサル日本国総領事館	3名
2015	在ジンバブエ日本国大使館、在ガーナ日本国大使館、 在ミクロネシア日本国大使館、在オマーン日本国大使館、 在ニカラグア日本国大使館	5名
2016	在ジッタ日本国総領事館、在ムンバイ日本国総領事館	2名
2017	在ハガツニヤ日本国総領事館、在ニューヨーク日本国総領事館	2名
2018	在インド日本国大使館、在ケニヤ日本国大使館	2名
2019	在サウジアラビア日本国大使館、在ハンガリー日本国大使館	2名
2020	在エジプト日本国大使館、在ヨルダン日本国大使館、 在ギリシャ日本国大使館	3名
2021	在ブルネイ日本国大使館	1名
2022	在ベンガルール総領事館	1名(予定)

※ 外務省在外公館派遣員制度とは、日本国籍をもつ18歳以上の青年が、海外にある日本の在外公館(大使館、総領事館、政府代表部、領事事務所)に原則2年の任期をもって派遣されるものです。主に外交のサポートや館内事務補佐などの実務面にあたる傍ら、国際社会での経験を積み、友好親善に寄与するというもので、外務省からの委託により国際交流サービス協会が1973年から実施、継続している制度です。

神田外語グループの派遣実績の背景には、2009年から久保谷富美男先生(神田外語大学グローバル・コミュニケーション研究所)が展開している、本グループならではの外務省在外公館派遣員試験に向けた教育が挙げられます。

2012年には『「 $+\alpha \cdot +\beta$ 」グローバル教養講座』を開講し、現在は「 $+\alpha \cdot +\beta$ 」を融合的に学ぶべく集大成とした『「 ∞ 」グローバル教養講座』(※1)を開講。参加学生は自主的に講座を受講し、さまざまな分野におけるテーマについてチームワークとディスカッションを行いながら、幅広い教養を地道に学び、国際社会に貢献するマインドを醸成します。こうした取り組みが外務省在外公館派遣員として、神田外語グループから数多くの学生を輩出する成果に繋がりました。

本グループは、これからもグローバル社会における語学力とコミュニケーション能力を涵養するとともに、国際社会に貢献しうる人材を輩出していきます。

※1 「 ∞ 」グローバル教養講座：

“「 ∞ 」の皆さんが、「 ∞ 」の領域(内外)にわたり、「 ∞ 」に学び続ける”ことを願ってこの講座名とし、主に外務省在外公館派遣員を目指す全学年の学生を対象に開講しています。内容は以前より開講されていた「 $+\alpha \cdot \beta$ 」グローバル教養講座を継承するもので、「 $+\alpha$ 」と「 $+\beta$ 」を融合的に学ぶべく集大成したものです。ここで学ぶ目的は以下のとおりです。

- ① 文理の枠を超えた、グローバル教養として幅広く、出来るだけ多くの分野を統合したものから学ぶこと
- ② 自分と異なる多様な文化的背景をもつ人々との出会いの場を自らが積極的に設け、さまざまなことを語り合うことにより、相手の立場に立って物事を見る目を養うこと
- ③ 日本語できちんと筋道を立てて話し、書ける能力の基本を養うとともに、自らがグローバル社会に対して情報発信し、世界の人々にも理解してもらえる説明(プレゼンテーション)力を向上させること

<これまで外務省在外公館派遣員試験に合格した卒業生の声>

藤木 菜緒さん(神田外語学院 グローバル・コミュニケーション科 2021年卒) 在ブルネイ日本国大使館に派遣中



これまで学んできた英語を使って仕事をしたいという思いがあり、今回こうして海外で働くチャンスをつむむことができ、非常に嬉しく思っています。ブルネイは自分にとって馴染みのない国でしたが、視野を広げ、さまざまなことを吸収するチャンスと捉えています。2年間という限られた時間を有意義なものにできるよう、精いっぱい業務に努め、成長して帰ってきたいと思います。

菊地 ひかりさん(神田外語学院 英語専攻科 2018年卒) 在エジプト日本国大使館に派遣中

神田外語学院に通ううちに、元々漠然としていた「大きなことに挑戦したい」という思いが、在外公館派遣員として日本の外交の現場を支える仕事をやりたいという具体的な目標に変わりました。卒業後、一度は派遣員の道を諦めようかと考えたこともあったのですが、どうしても諦めきれず挑戦したことで、在エジプト日本国大使館にご縁をいただくことができ、お世話になった先生方、家族、友人などには大変感謝しております。自分のもてる力を精一杯発揮できるよう精進いたします。



<久保谷富美男先生からコメント>

神田外語学院における『「∞」グローバル教養講座』とは



神田外語学院では、多くの学生が“学んだ外国語を生かして、海外で活躍したい！”という大きな目標を持っています。そういった学生たちには、選択肢の一つとして“外務省在外公館派遣員制度”を推奨し、希望する受講者はこの制度をキャリア形成のスタートとして認識し、合格に向けて『「∞」グローバル教養講座』を通して地道な学びを継続しています。そしてこの試験に合格すると、希望していた国へ、または想像もしていなかった運命的な国へと赴任することになります。任期の間は外交のサポート業務を通して世界を見、異質の考え方や多様な文化、また現地の人々やそのライフスタイルにふれて自分を磨き、帰国後もさまざまな分野で活躍しています。

神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所
久保谷 富美男（アカデミックフェロー）

◆ 参考リンク

【外務省在外公館派遣員制度について】

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/saiyo/haken/index.html>

【神田外語大学 外務省在外公館派遣員 関連ページ】

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/job/zaigai/>

※本学から配信されるプレスリリースはSDGsに基づいた教育環境充実の一環として、UD（ユニバーサルデザイン）フォントで作成されています。 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

▼ 本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園(神田外語グループ) グループコミュニケーション部 三上山 雄亮

TEL: 03-3258-5837 (平日 9:30~17:00)

FAX: 03-5298-4123

MAIL: media@kandagaigo.ac.jp